

# 出雲市歴史文化基本構想

～神話と風土記の世界が今に息づく出雲～  
【概要版】



平成 29 年（2017）3月  
島根県出雲市

# 1 歴史文化基本構想策定の背景と目的

『古事記』や『日本書紀』には、出雲を舞台とする神話が数多く記載され、『出雲国風土記』には豊かな古代出雲の姿とともに、壮大な国引き神話も語られており、出雲市には今でも神話や風土記の世界が、私たちの身近に息づいています。

また、荒神谷遺跡などは、神話とともに往時の繁栄を物語るほか、今に至るまで連綿と引き継がれてきた出雲大社や鰐淵寺などの古社寺、神楽をはじめとした民俗芸能など、有形・無形の文化財が数多くあります。

こうした地域の多様な文化財を、適切に保存・活用し継承していくためには、個々の文化財の保護に加えて、文化財を歴史的・地域的視点から把握し、関連する文化財群として、また、周辺環境を含めて総合的に把握することが大切です。

このため出雲市は、地域に存在する文化財を、有形・無形、指定・未指定にかかわらず、「関連文化財群」や「歴史文化保存活用区域」という新たなまとまりとして捉え、文化財を総合的に保存・活用するための指針となる「出雲市歴史文化基本構想」を策定しました。

## 文化財の総合的な把握

### 関連文化財群

個別に認識してきた様々な文化財を、有形・無形、指定・未指定にかかわらず、歴史的・地域的関連性に基づき一定のまとまりとして捉えて、魅力を高めたり、価値を分かりやすく伝えることができます。

### 歴史文化保存活用区域

有形のものだけではなく、無形のものも含めて文化財が特定の地域に集中している場合に、文化財と一緒にして価値を形成する周辺環境も対象として、文化的な空間を創出するための計画区域です。

## 適切な保存・活用の取組



西谷2号墓



経島のウミネコ繁殖地

(表紙写真) 左から：吉兆幡、立久恵峠、須佐神社本殿、国富中村古墳石室

## 2 出雲市の歴史文化の特徴と価値

古代から今に至るまで連綿と引き継がれてきた歴史文化や、豊かな自然環境、遺跡群などにより、出雲市の歴史文化の特徴と価値を次のように整理しました。

【歴史文化の特徴と価値】

**原始・古代の出雲と日本の歴史を物語る歴史文化**

**出雲神話と風土記の舞台として連綿と受けつがれた歴史文化**

**出雲平野と島根半島、中国山地などの地形を反映した歴史文化**

**地域や時代が関連し、つながり合う歴史文化**

## 3 歴史文化基本構想の基本理念

【出雲市における文化財の保存・活用の基本理念】

**『神話と風土記の世界が今に息づく出雲』  
～その歴史文化を地域で守り、生かし、未来へ伝える～**

## 4 文化財の保存・活用の基本的方針

文化財の保存・活用の基本理念を、具体的な取組として実行していくため、基本的方針を次のように設定します。

- 市民一人ひとりが、歴史文化に地域ならではの価値を再発見し、大切にする
- 関連する文化財をつなぎ、出雲ならではの歴史文化の価値や魅力を高める
- 周辺環境を含めて、文化財を守り、生かし、文化のかお薫り高い地域をつくる
- 文化財を生かした多様な活動・交流のある地域をつくる
- 行政分野の連携れんけいおよび協働のまちづくりを進める